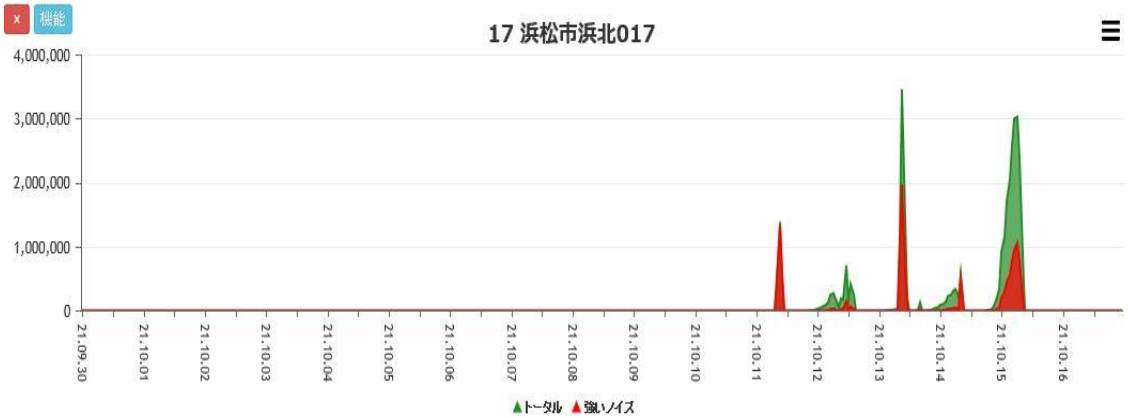
211015　浜北 017 の大きなデータと高知市介良の収束について

昨日 10 月 14 日にお知らせにアップしたつづきですが　浜北 017 に大きな 1 本立ちが 3 本になりました。2 本目はＭＡＸ350 万/ｈを超え、3 本目も同程度の大きさですが　これは幅があり、さらに危険なデータとなっています。いわゆる 1 本立ちで、ここまで大きいデータが 3 本の出るのはまれであり、相当な警戒が必要です。

他方で、ながく懸案だった高知市介良のデータが今日 10 月 15 日も収束傾向が続いています。
地理的には　西から、高知―和歌山―伊勢―浜松―長野、という広い地域での異常であり、南海トラフや東海、東南海地震を警戒させるような大きさになっています。また高知―和歌山―伊勢―浜松―長野、という東西の長い線は、中央構造線に沿っているようにも見えます。
さらに昨日から今日にかけて規模は小さいですが　四国沖M4.1 や和歌山、紀伊水道のM3 クラスの地震が発生しています。

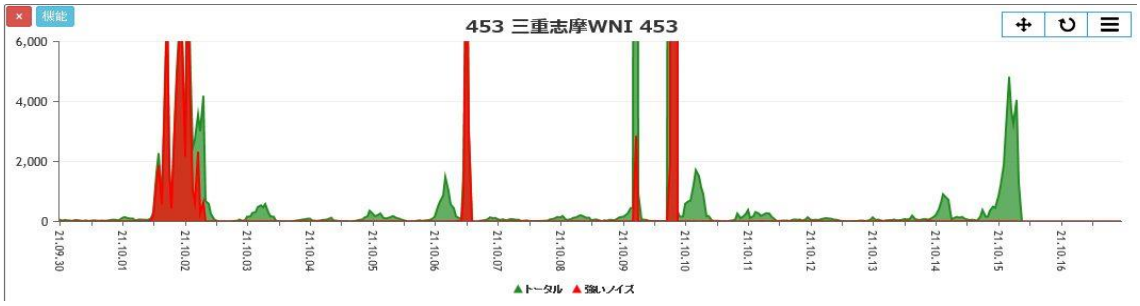
このような状況から、震源や規模、発震日がまだはっきりとはしませんが、特に浜北 017 の大きなデータを中心にして中部、関西地方の大地震、最悪M7 クラス、に注意が必要と考えます。

浜北 017 の大きな 3 本立ち

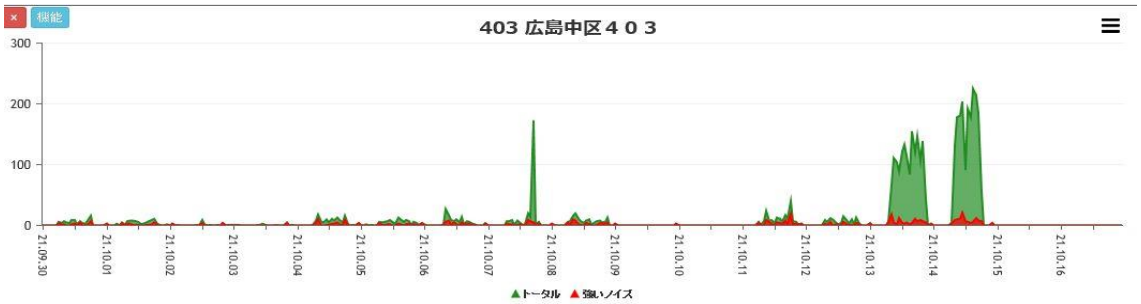


浜北 017 の大きな 3 本立ち（拡大）

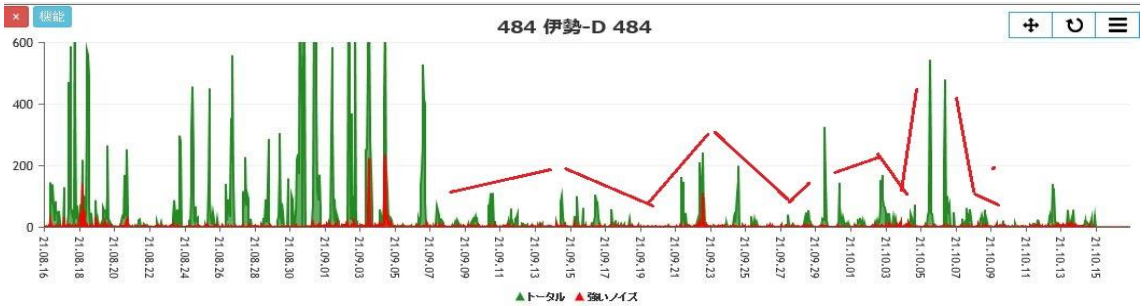
伊勢志摩　15 日間（拡大）データ



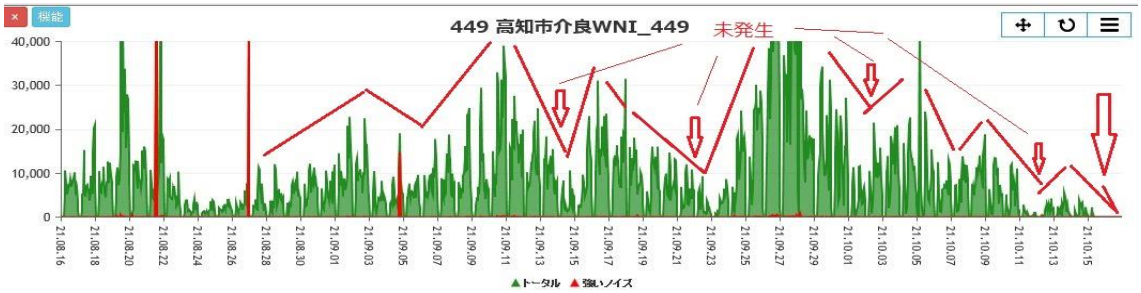
広島中区 403



伊勢Ｄ484



高知市介良

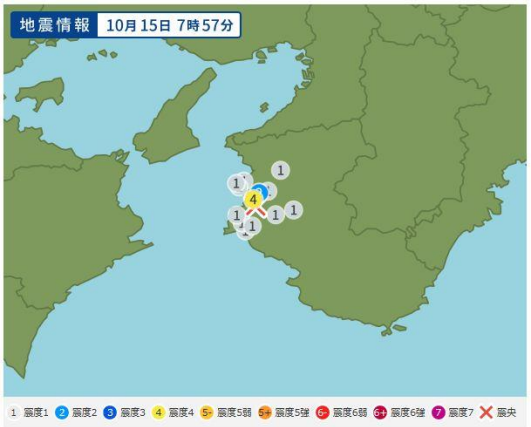


高知市介良

211014 四国沖M4.1

発生時刻	2021年10月14日 2時01分ごろ
震源地	四国沖
最大震度	2
マグニチュード	4.1
深さ	10km

発生時刻	2021年10月15日 5時16分ごろ
震源地	紀伊水道
最大震度	1
マグニチュード	3.4
深さ	40km



発生時刻	2021年10月15日 7時57分ごろ
震源地	和歌山県北部
最大震度	4
マグニチュード	3.6

位置関係

中央構造線

南海トラフ地震の想定域